

# 言語聴覚士とは

“ことば”や“きこえ”に問題があり、コミュニケーションをとることに困りの方や、食べたり、飲んだりすることに困りの方に対して、相談・評価・訓練・指導・環境調整を行う専門職です。

ST(Speech-Language-Hearing Therapist )といわれます。

## 当院では…

### ことば (失語症)

- ・ 言いたいことばがでてこない
- ・ 聞いたり読んだりしたことがわからない
- ・ 字が書けなくなった など

### 高次脳機能障害

- ・ 忘れやすい、覚えられない (記憶障害)
- ・ 不注意になる 見落としてしまう (注意障害)
- ・ 同じ間違いを繰り返す、修正できない  
(前頭葉障害)  
など

このような場合に ST の  
対象になります

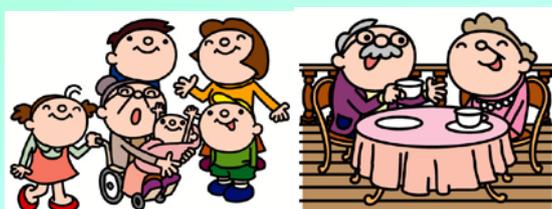
### 声や発音 (構音障害)

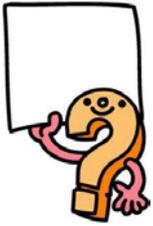
- ・ 口が動かなくて、ろれつが回らない
- ・ 声が出にくい、かすれる
- ・ なめらかに話せない など

### 食べること (嚥下障害)

- ・ 食べ物をうまく飲み込めない
- ・ むせる、むせやすい など

- ・ 脳卒中などの病気や事故などの原因から、コミュニケーションをとりにくくなった人(失語症、構音障害)、社会に適応できなくなった人(高次脳機能障害など)、口や喉を動かして食べ物をうまく飲み込めなくなった人(嚥下障害)に対するリハビリテーションを主に行っています。
- ・ 訓練は、通常20分～1時間で、言語聴覚室(個室)を使って、1対1で行います。





## 訓練はどんなことをするの？

(患者さん一人一人に合わせた訓練を行いますので、異なる場合もあります。)

### 失語症の方には



ことばの状態がどんな様子か検査(評価)します



- ・ことばを引き出すような訓練をします
- ・家族や周囲の方へ、失語症の方とコミュニケーションが取りやすくなるような働きかけやサポートをします

### 構音障害の方には



声や発音の悪さの状態がどんな様子か検査(評価)します



- ・発音や発声に必要な口や身体の動きを訓練します
- ・伝わりやすくなるような話し方を訓練します

### 嚥下障害の方には



飲み込みの状態がどんな様子か検査(評価)します



- ・食事のときの姿勢や飲み込み方を工夫します
- ・食べやすい食事の工夫をします
- ・食べやすくなるように訓練します

### 高次脳機能障害の方には



高次脳機能の様子について検査(評価)します



- ・それぞれの症状にあわせた対応の仕方を検討します
- ・必要に応じて訓練を行いません



ST は、現在全国におよそ1万5千人います。県内では、およそ100施設で百数十人の ST が働いています。(平成 19 年現在) 市内でも ST のいる施設は限られていますが、少しずつ増加傾向にあります。

ST になるには、国家試験に合格することが必要になります。受験資格は言語聴覚士養成学校として指定された大学、専門学校(2~4年)などを卒業することなどで得られます。静岡県内に養成校は大学が一校あります。